

快挙！日本学生科学賞「学校賞」受賞！

◆今回の記事は、表彰式に出席した渡辺隆文副校長先生が書いてくれました。

令和元年12月24日（火）お台場にある日本科学未来館「未来館ホール」にて、第63回日本学生科学賞中央表彰式が行われました。

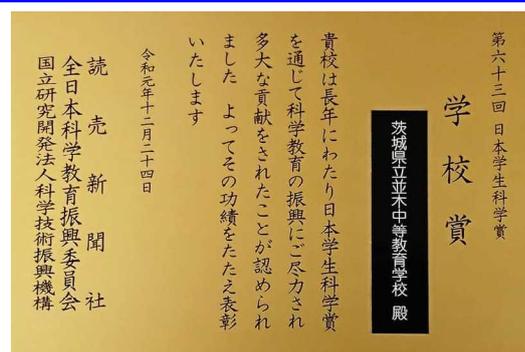
今回、並木中等教育学校として特別賞である「学校賞」受賞となりました。「学校賞」は「これまで、本賞で優秀な成績を残している学校や、科学に教育に熱心に取り組み、成果を上げている学校などに授与されます。」とあります。全国で中学・高校から各1校が選ばれるもので、本校のこれまでの取り組みが評価されて、栄えある受賞となりました。茨城県としても初の受賞です。今回学校を代表して出席して参りました。

表彰式には秋篠宮皇嗣殿下がご臨席になりましたが、それに先立って大臣賞を受賞した中・高生と特別賞を受賞した学校は記念撮影がありました。最前列の真ん中に秋篠宮後嗣殿下がお座りになり、私は2列目の真ん中、殿下のすぐ近くで記念撮影することが出来ました。

表彰式では、最終審査進出作品の中から、賞の発表がありました。それぞれ学校名や生徒名が読み上げられ、その都度、壇上にて表彰を受けました。本校から最終審査に残った堺さんが科学技術政策担当大臣賞（全国4位）、横井さんが全日本科学教育振興委員会賞（全国5位）と、2名ともみごと受賞となりました。その後、学校賞の表彰があり、直前に2名も表彰された学校ということで、とても誇らかな気持ちで表彰を受けることが出来ました。読売新聞社東京本社取締役事業局長より、記念の盾をいただきました。

表彰式閉会後に特別賞（学校賞2名と指導教諭賞1名）出席者は、別室にて秋篠宮後嗣殿下と歓談することとなりました。読売新聞社の担当者から紹介いただいた後、それぞれの出席者に殿下よりご質問がありました。一番最初だった私には、殿下から「どんなところが中心となって、このような取組や活動をしているのですか？」とのご質問がありました。順番に同席された他の先生への質問の後、さらにもう一度、学校の様子を説明させていただきました。短い時間ではありましたが、一瞬一瞬がとっても貴重であり、濃密な経験をさせていただきました。

今回のこの受賞は、これまでの並木中等の生徒、そして指導に尽力してきた先生方全てに対する評価だと思いました。この受賞にふさわしい学校であり続けることの責任の重さを感じつつ、会場を後にしました。



◆日本学生科学賞(Japan Student science Award, JSSA)は、毎年行われる中学生と高校生を対象とした科学コンクールです。日本で最も伝統と権威のある科学賞で知られています。1957年（昭和32年）に始まり、今年で第63回です。本校は、近年その中央審査の常連校となっています。